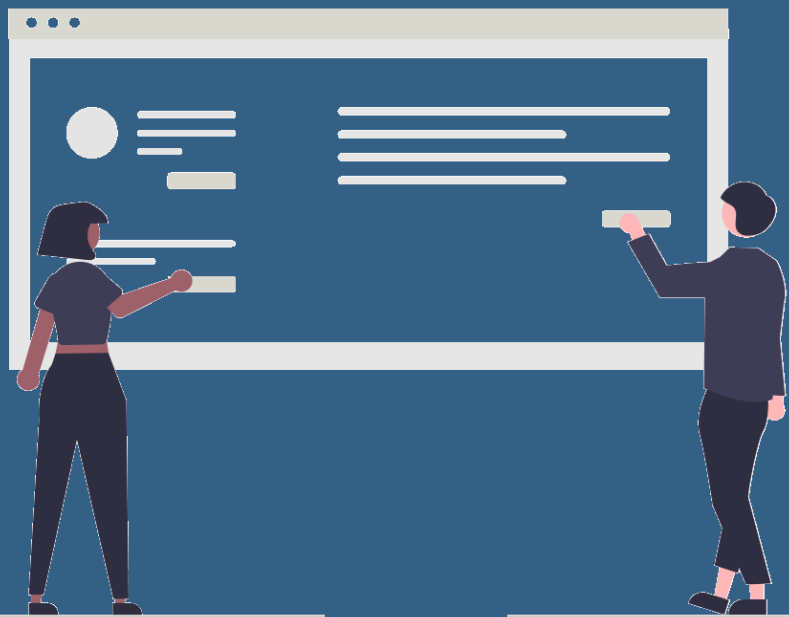

双葉 8 町村間自治体連携推進に向けた人事交流事業

～Aグループ～

赤井春菜 半谷克行 鯨岡圭介
新田勇太 村上拓哉 今野涼太



OUTLINE



01 背景

02 目的

03 実施方法

04 予算概要

05 まとめ

課題

各町村における財政力の格差・・・発電所立地の有無、地方税の格差
市町村合併をせずに独立を目指した背景・・・住民の理解、自治体間の連携
復旧・復興のステージが異なる・・・除染作業の進捗、帰還困難区域解除の時期の違い

必要なこと

8町村の足並みを揃えること・・・ふたばランドデザインの下地づくり
情報の共有・適材適所の人材配置・・・各復旧・復興のステージに沿った効率最大化
体制の整備・・・既存の枠組みを超えた体制づくり、持続可能な取り組み

情報共有と人材育成の体制を整備し地域の発展を推進すること 

を目的とする

ふたばブランドデザインの実現に向けて双葉8町村間での人事交流を行い、町村間での情報共有や職員の人材育成に繋げることにより地域単位での発展を推進

双葉8町村間の人事交流で得られる効果



情報共有



資質向上



意識改革



抵抗緩和



即戦力



平準化

得られる6つの効果

- ① 町村間の情報共有
- ② 自治体職員の資質向上
- ③ 広域連携による発展の必要性に対する意識付け
- ④ 居住環境の影響の最小化と人事交流に対する抵抗の緩和
- ⑤ 町村の事務に精通した職員の確保
- ⑥ 町村間の復旧・復興ステージの平準化



県・町村会主導による8町村との共有

2022

各町村の人事担当課職員により概要共有を行う。



人事交流事業協議会の立ち上げ

2023

町村会内に事務局を設置し「双葉8町村間人事交流事業」実施に向けた協議会を立ち上げる。



要綱・協定作成

2024

負担金や交流期間等の要綱や協定に必要な細部について協議を進める。



試験運用・検証

2025

試験的に人事交流を実施し、効果を検証する。

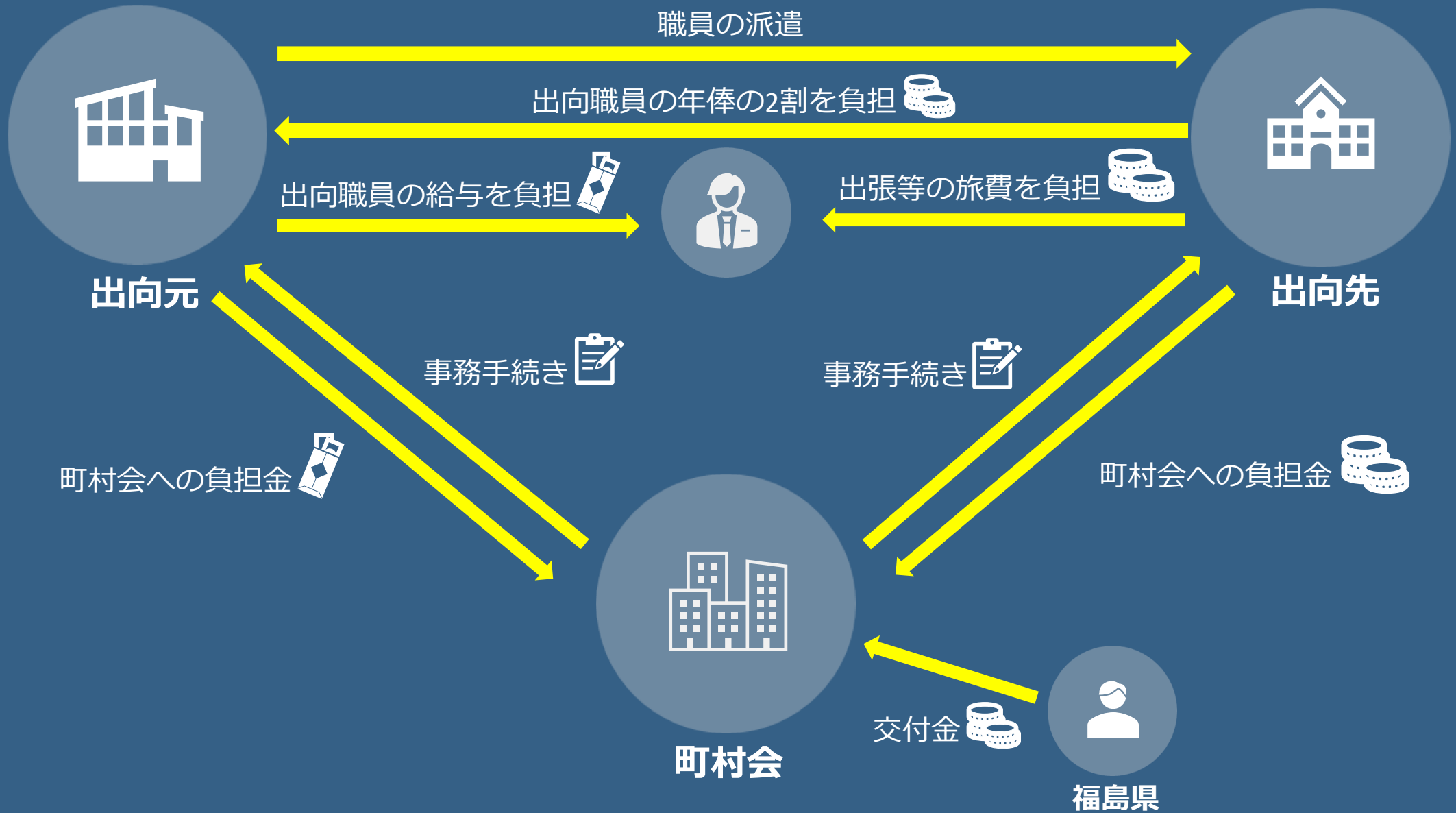


本運用開始

2026


本運用に向けた調整を行い事業の改善を行う。

予算概要



双葉8町村の復旧・復興と持続可能なまちづくりが必要。
ふたばグラウンドデザインは自治体連携を見据えてはいるものの、
各自治体の足並みはまだ揃っていない。

自治体連携への1歩として自治体間の情報共有や足並みを揃える
ことができるこの事業は有意義ではないか？

町村会、相双地方振興局、各町村でこの事業検討してみませんか？ 

ご清聴ありがとうございました

